



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月9日

上場会社名 大東港運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9367 URL <https://www.daito-koun.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 好貞
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 荻野 哲司 (TEL) 03-5476-9701
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,718	5.0	589	6.5	635	8.1	427	△0.7
2022年3月期第2四半期	8,305	△24.1	553	74.0	587	54.5	430	89.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 481百万円(3.2%) 2022年3月期第2四半期 466百万円(93.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	49.76	—
2022年3月期第2四半期	50.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	14,019	8,086	56.7
2022年3月期	13,277	7,738	57.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 7,947百万円 2022年3月期 7,615百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	16,800	1.2	1,000	△6.8	1,050	△12.0	700	△16.0	81.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	9,389,000株	2022年3月期	9,389,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	793,103株	2022年3月期	811,320株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	8,585,021株	2022年3月期2Q	8,577,719株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、2022年11月9日に、四半期決算説明資料「第74期(2023年3月期)第2四半期決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症にかかる「まん延防止等重点措置」の終了により、外食産業等の対面型サービスを中心に徐々に回復の動きがみられました。

海外経済においては、欧米では、物価上昇と急速な金融引き締めに伴う景気への影響が懸念され、中国では上海を主とする各地でのロックダウンの影響は大きく、経済成長は押し下げられる形となりました。

かかる環境下、物流業界におきましては、新型コロナウイルスの影響を受けた前年同期間から回復し、輸入は、アジア・米国・欧州ともに増加、輸出においては横ばいとなりました。

その中で、食品の輸入が大きな部分を占める当社取扱いは、農・畜・水産物に関してはいずれも増加しましたが、その他食品及び日用品については巣ごもり需要の低迷もあり減少となりました。また鋼材の国内物流取扱いは、大幅な取扱い増となった昨年の反動から減少となりました。

このような状況の中、当企業集団は「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーの下で、第7次中期経営計画「独自の価値創造」～Develop inherent value～の最終年を迎え、その各施策一つひとつに取り組みとともに計画達成に向け、受注活動を堅実に展開してまいりました。合わせて、時差出勤やテレワークの推進、それに付随した機器・システムの導入、RPA化等により、新型コロナウイルス感染症対策ならびに生産性向上に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前年同四半期比5.0%増の8,718,412千円となりました。また経常利益は、前年同四半期比8.1%増の635,042千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比0.7%減の427,183千円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

[輸出入貨物取扱事業]

輸出入貨物取扱事業は、営業収益は前年同四半期比4.0%増の6,861,173千円となり、セグメント利益は前年同四半期比5.1%増の1,084,310千円となりました。

[鉄鋼物流事業]

鉄鋼物流事業は、鉄鋼製品の取扱減少により営業収益は前年同四半期比1.6%減の828,794千円となり、セグメント利益は前年同四半期比35.8%減の41,334千円となりました。

[その他事業]

その他事業は、連結子会社増加により、営業収益は前年同四半期比18.7%増の1,028,443千円となりましたが、セグメント利益は海外子会社コスト増加により前年同四半期比61.7%減の8,064千円となりました。

セグメント別営業収益

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
輸出入貨物取扱事業	6,596,247	79.4	6,861,173	78.7	264,926	4.0
鉄鋼物流事業	842,331	10.2	828,794	9.5	△13,536	△1.6
その他事業	866,761	10.4	1,028,443	11.8	161,681	18.7
合計	8,305,340	100.0	8,718,412	100.0	413,071	5.0

輸出入貨物取扱事業における取扱品目別売上高

取扱品目	前第2四半期連結累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日		増減	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
畜産物	2,456,850	37.3	2,633,851	38.4	177,001	7.2
水産物	1,017,060	15.4	1,211,684	17.7	194,624	19.1
農産物	838,821	12.7	857,778	12.5	18,957	2.3
その他	2,283,515	34.6	2,157,859	31.4	△125,656	△5.5
合計	6,596,247	100.0	6,861,173	100.0	264,926	4.0

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は14,019,323千円となり、前連結会計年度に比較し741,765千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が324,371千円減少した一方、受取手形及び営業未収入金が184,073千円、棚卸資産が103,743千円、関税等立替金が519,242千円、投資有価証券が146,497千円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は5,933,108千円となり、前連結会計年度に比較し394,177千円増加いたしました。これは主に、営業未払金が151,796千円、短期および長期借入金が295,038千円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は8,086,215千円となり、前連結会計年度に比較し347,588千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が281,363千円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比較し327,141千円減少し、2,307,507千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は184,921千円(前年同四半期は468,294千円の増加)となりました。これは税金等調整前四半期純利益630,113千円、仕入債務の増加額147,121千円があった一方で、関税等立替金の増加額519,242千円、法人税等の支払額223,880千円、売上債権の増加額167,006千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は286,399千円(前年同四半期は72,116千円の減少)となりました。これは保険積立金の解約による収入33,684千円があった一方で、投資有価証券の取得による支出183,540千円、保険積立金の積立による支出65,622千円、無形固定資産の取得による支出40,905千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は122,195千円(前年同四半期は148,131千円の増加)となりました。これは長期借入金の返済による支出324,962千円、配当金の支払額145,952千円があった一方で、長期借入れによる収入620,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表した数値に変更はございません。今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,656,212	2,331,841
受取手形及び営業未収入金	2,483,424	2,667,498
棚卸資産	247,410	351,153
関税等立替金	1,730,656	2,249,899
前払費用	133,464	203,307
その他	61,042	70,862
貸倒引当金	△2,850	△3,153
流動資産合計	7,309,361	7,871,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	480,323	455,540
機械装置及び運搬具(純額)	201,180	185,191
土地	2,287,362	2,302,242
リース資産(純額)	95,931	133,429
その他(純額)	35,184	30,114
有形固定資産合計	3,099,982	3,106,516
無形固定資産		
投資その他の資産	236,298	230,241
投資有価証券	1,138,361	1,284,858
破産更生債権等	3,705	3,585
繰延税金資産	290,900	297,927
その他	1,202,676	1,228,388
貸倒引当金	△3,728	△3,604
投資その他の資産合計	2,631,915	2,811,155
固定資産合計	5,968,197	6,147,913
資産合計	13,277,558	14,019,323

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,701,265	1,853,062
短期借入金	705,462	772,500
未払法人税等	245,937	218,172
賞与引当金	300,872	320,531
その他	523,918	434,081
流動負債合計	3,477,456	3,598,347
固定負債		
長期借入金	956,000	1,184,000
再評価に係る繰延税金負債	161,263	161,263
退職給付に係る負債	698,159	712,832
長期末払金	71,221	71,221
その他	174,830	205,442
固定負債合計	2,061,475	2,334,760
負債合計	5,538,931	5,933,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	609,280	612,680
利益剰余金	6,028,811	6,310,174
自己株式	△376,263	△367,814
株主資本合計	7,117,878	7,411,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143,266	146,386
土地再評価差額金	56,288	56,288
為替換算調整勘定	29,292	81,772
退職給付に係る調整累計額	268,954	251,605
その他の包括利益累計額合計	497,801	536,051
非支配株主持分	122,947	139,073
純資産合計	7,738,627	8,086,215
負債純資産合計	13,277,558	14,019,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業収益	8,305,340	8,718,412
営業原価	5,827,447	6,166,423
営業総利益	2,477,893	2,551,988
販売費及び一般管理費	1,924,774	1,962,797
営業利益	553,118	589,190
営業外収益		
受取利息	772	1,197
受取配当金	16,199	21,845
持分法による投資利益	—	12,200
受取保険金	1,459	3,511
その他	21,753	17,420
営業外収益合計	40,184	56,175
営業外費用		
支払利息	5,650	6,259
複合金融商品評価損	—	3,860
その他	428	204
営業外費用合計	6,078	10,323
経常利益	587,224	635,042
特別利益		
投資有価証券売却益	49,444	1,227
特別利益合計	49,444	1,227
特別損失		
固定資産除却損	—	6,155
特別損失合計	—	6,155
税金等調整前四半期純利益	636,668	630,113
法人税、住民税及び事業税	188,183	196,982
法人税等調整額	8,544	2,893
法人税等合計	196,727	199,876
四半期純利益	439,940	430,237
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,738	3,053
親会社株主に帰属する四半期純利益	430,202	427,183

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	439,940	430,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,910	3,119
為替換算調整勘定	20,359	65,551
退職給付に係る調整額	△14,678	△17,348
その他の包括利益合計	26,591	51,322
四半期包括利益	466,532	481,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	452,606	465,434
非支配株主に係る四半期包括利益	13,925	16,125

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	636,668	630,113
減価償却費	130,721	124,490
のれん償却額	10,081	11,429
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△507	179
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,228	△11,438
受取利息及び受取配当金	△16,971	△23,043
支払利息	5,650	6,259
為替差損益 (△は益)	△23	△1,019
持分法による投資損益 (△は益)	—	△12,200
投資有価証券売却損益 (△は益)	△49,444	△1,227
複合金融商品評価損益 (△は益)	—	3,860
有形固定資産除却損	—	6,155
売上債権の増減額 (△は増加)	820,283	△167,006
棚卸資産の増減額 (△は増加)	249,286	△103,743
関税等立替金の増減額 (△は増加)	△1,250,874	△519,242
仕入債務の増減額 (△は減少)	215,482	147,121
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9,386	△13,462
未収消費税等の増減額 (△は増加)	3,406	△235
その他	△134,148	△56,437
小計	625,770	20,553
利息及び配当金の受取額	16,379	22,635
利息の支払額	△5,389	△4,230
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△168,466	△223,880
営業活動によるキャッシュ・フロー	468,294	△184,921
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,100	—
保険積立金の積立による支出	△49,056	△65,622
保険積立金の解約による収入	2,465	33,684
有形固定資産の取得による支出	△59,282	△35,260
無形固定資産の取得による支出	△11,417	△40,905
投資有価証券の取得による支出	△52,674	△183,540
投資有価証券の売却による収入	95,416	2,807
貸付けによる支出	△2,400	△5,800
貸付金の回収による収入	7,964	9,167
その他	△1,031	△929
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,116	△286,399

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△150,000	△150,000
長期借入れによる収入	620,000	620,000
長期借入金の返済による支出	△326,504	△324,962
リース債務の返済による支出	△26,032	△26,889
配当金の支払額	△119,331	△145,952
財務活動によるキャッシュ・フロー	148,131	122,195
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,928	21,984
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	548,237	△327,141
現金及び現金同等物の期首残高	2,150,813	2,634,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,699,050	2,307,507

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	6,596,247	842,331	866,761	8,305,340	—	8,305,340
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	61,683	61,683	△61,683	—
計	6,596,247	842,331	928,445	8,367,023	△61,683	8,305,340
セグメント利益	1,031,715	64,392	21,066	1,117,174	△564,056	553,118

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用564,056千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸出入貨物 取扱事業	鉄鋼物流事業	その他事業	合計		
営業収益						
(1) 外部顧客に 対する営業収益	6,861,173	828,794	1,028,443	8,718,412	—	8,718,412
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	67,047	67,047	△67,047	—
計	6,861,173	828,794	1,095,491	8,785,459	△67,047	8,718,412
セグメント利益	1,084,310	41,334	8,064	1,133,709	△544,518	589,190

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用544,518千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。